

1991年11月30日発行

別冊ステレオサウンド

Stereo Sound

季刊ステレオサウンド 創刊100号記念 別冊

オーディオ 世界の一流品



UK ProAc

U.K.

プロアック

Celef Audio International Limited
130-132 Thirsk Road, Borehamwood, Herts, Herts
WD6 5BA England

「プロアック社」は、1973年イギリスのボーナムウッドにスチュアート・タイラー氏が設立した「セレフ社」にはじまる。それも同氏がまだ学生だった当時、自作の「セレフ・モニター」と名付けたスピーカーが評判を生み、会社設立に至ったという。それが、現在の「プロアック」に発展したのは1979年で、より高性能な製品のためドイツ「ATC」のユニットを採用して完成した「スタジオ3」の成功がきっかけ。



Response 2

ちなみにプロアックの名は「プロフェッショナル・アコースティック」からの造語。つづいて超小型の「プロアック・タブレット」が生まれたが、これは現在でも改良された「スーパー・タブレット」として人気のものだ。また前記のスタジオ3は、その後「EBSモニター」となり、さらに現行の「スタジオ・タワー」へと発展。現在ではこれらの製品のほか、1989年から始まった「レスポンス・シリーズ」が、わが国でも評判になっている。

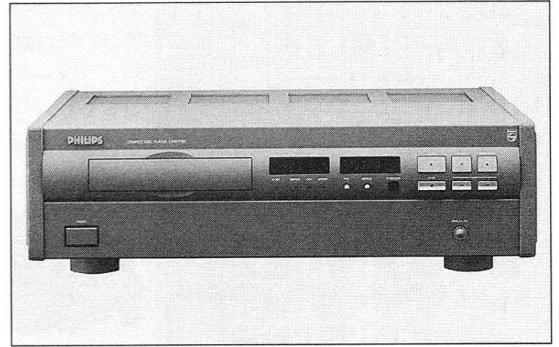
Holland Philips

Holland

フリリップス

N.V. Philips' Gloeilampenfabrieken
5261 BA Eindhoven, The Netherlands

いうまでもなくオランダ最大の、そして世界的な電気メーカーで、オーディオはその一部門にすぎない。同社は



LHH700

1891年、ヘラルド・フィリップスとアントン・フィリップスの両氏による白熱電球の製造にはじまるから、今年で満100年を迎えた。現在でも同社の正式社名が「フィリップス白熱電球製造株式会社」であることは、案外知られていない。オーディオに深く関わったのは1949年からのレコード事業。そして1962年のコンパクトカセットの開発。さらに1980年「ソニー」と共同発表したCDフォーマットがある。CDプレーヤーに関しても1985年のプロ用機「LHH2000」は有名を馳せたが、その後の製品の多くは、資本関係をもつ「マランツ」との共同開発で、もっぱらCDメカやDAC素子の世界的な供給源として知られている。しかし1989年に大型のモニタースピーカー「FB1000」発表以後、スピーカーへの積極的な進出が見られる。

Germany Restek

Germany

レストテック

Restek Electronic Products GmbH
Kassel-Waldau Industriegebiet Germany

ドイツの「レストテック」は、わが国には今年紹介されたばかりなので、まだ知名度は浅い。だが当時、西ドイツのカッセル



Vector/Exponent

に、まだエレクトロニクスと物理学を専攻する学生だった現社長、ベルンド・ヒューゴ氏が同社を設立したのは1975年のことで、ドイツを中心としたヨーロッパ各国では、「トーレンス」系で販売されるアンプとして知られており、現在では合計14種にのぼる製品群を擁している。初の製品は創立の年に発表されたスピーカーシステム「オプティマ」とコントロールアンプ「V2」だが、市場で大きく注目されたのは1987年のコントロールアンプ「ベクトル」。その年にはチューナーの「スカラー」も誕生し、さらに翌年にはパワーアンプ「テンサー」とCDプレーヤー「ラディアント」も完成、そして超大型のパワーアンプ「エクスポーネント」とつづく。このうち、前記の「ベクトル」と「エクスポーネント」によって、今年わが国に初上陸した。

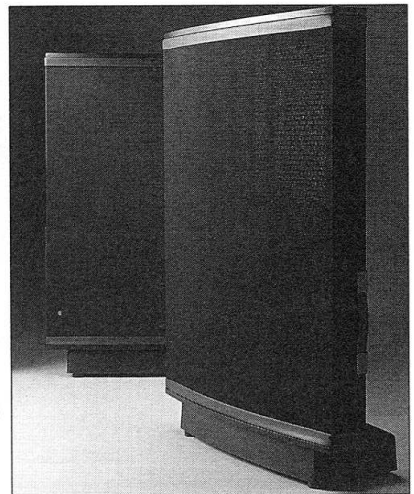
UK QUAD

U.K.

クオード

Quad Electroacoustics Limited
Huntington PE18 7DB U.K.

イギリスのオーディオを代表する同社は、1935年ピーター・J.ウォーカー氏によって「アコースティカル・マニュファクチュアリング社」として発足。ちなみに「QUAD」の名は、「クオリティ・ユニット・アンプ・ファイアー・ドメスティック」を意味するもので、同社製品の狙いをそのまま表わしている。その第1号機は1938年、当時としては大出力を誇る10Wアンプだった。戦後の話題作は、1950年の



ESL63Pro

「QUAD1」コントロールユニットと「QUAD I」パワーアンプだが、これをもとに徹底改良した1953年の「QUAD II」パワーアンプと「QUAD 2」コントロールユニットは不朽の名作として知られている。そして1957年には、世界初のフルレンジ型コンデンサースピーカー「ESL」を輩出。これが1981年に「ESL63」へと発展。現在ではCDプレーヤーをはじめ、多数のアンプ群を擁しているが、いずれも「QUAD」の名に恥じない個性的なものだ。



RESTEK Made in GERMANY Vector+Exponent

わが国には新しく紹介されるドイツの製品である。ドイツにはこのところきわめてエンスージアスティックなハイエンド・オーディオメーカーの巨頭が目立っている。20年ぐらい前までは、プロ機器はともかく、一般用の再生オーディオ機器の分野にはテレフンケンやグルンデイツヒのような大きなメーカーの一体型の製品が多く、いわゆるコンポーネントは目につかなかった。この理由として、ドイツ帰りの通と呼ばれる人たちは、どんな小都市にもオペラやコンサートホールがあるドイツではレコードやオーディオは趣味として成り立たないのだと説明してくれたものである。しかし、それは全くの誤りであった。当時ドイツはただ単にオーディオの後進国であっただけである。その証拠に、いまやドイツのハイファイは年々隆盛で、ドイツ製のコンポーネントの種類はメーカーの数とともに年ごとに増大している。わが国への輸入も徐々に増え、スピーカーシステム、アンプリファイアーともにドイツらしい造りのしっかりした高級品が見られる。このレストックというブランドも耳新しいが、製品を見ればその強固な主張と明確なコンセプトが理解できる一級品であって、トータルシステムが構成できる全カテゴリーの製品が用意されている。その一貫したフィロソフィを音として確認するためにはトータルで使用すべきかもしれないが、アンプを独立したコンポーネントとして使ってみても、このメーカーのクオリティへのこだわりと音への主張が理解できるであろう。ヴェクトルもエクスポーネントも一貫してソリッドで磨きぬかれた輝きの質感と、力感に溢れる音のウェイトをもっている。厚く丸く、きりっと締った魅力的な

コントロールアンプ/パワーアンプ

レステック

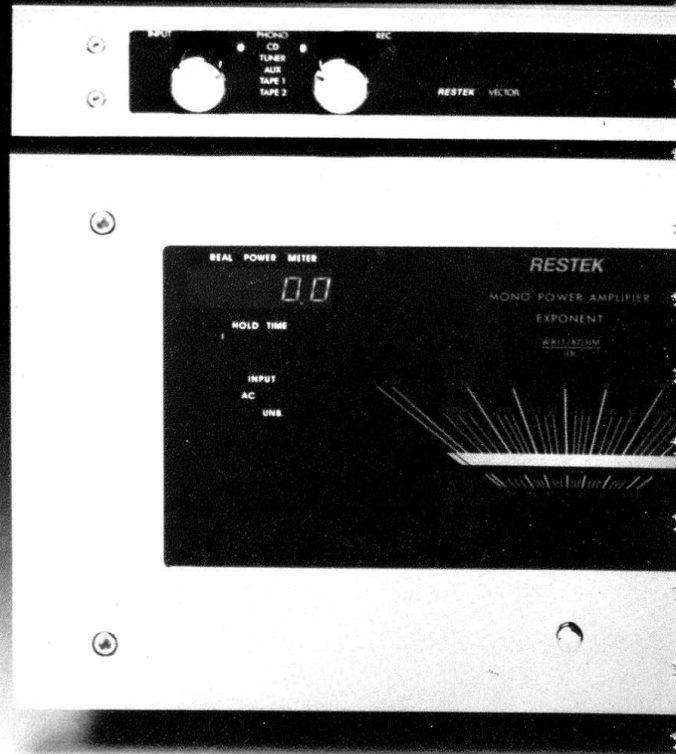
Vector Exponent

¥700,000 | ¥4,000,000(ペア)

Vector ●出力インピーダンス: 1Ω ●S/N比: PHONO(MM)・86dB、PHONO(MC)・79dB、ライン・105dB ●寸法: W483×H65×D376mm ●備考: バランス出力装備 ●発売: 1991年 Exponent ●型式: モノラルパワーアンプ ●出力: 1,100W+1,100W(8Ω)、1,800W+1,800W(4Ω) ●入力感度: 2V ●S/N比: 120dB ●寸法/重量: W483×H275×D630mm、65kg ●備考: バランス入力装備 ●発売: 1991年

プロフィール
レステックは旧西ドイツのカッセルで1975年に産声を上げたのだが、わが国に製品が紹介されたのは今年になってから。それは同社セバレートアンプのトップモデル、コントロールアンプの「ベクトル」とパワーアンプの「エクスポート」だ。ベクトルは、全体を金メッキで仕上げた、まさに輝かしい製品で、アクティブおよびパッシブの回路構成によるフォノイコライザーや、各ライン入力端子の直後に超高速バッファアンプを装備し、信号の低インピーダンスを維持するといったハイクオリティ設計。入力にはフォノ1系統のほかライン5系統。出力はアンバランスとバランス。一方エクスポートネットワークのほうはまさに堂々たるモノラルパワーアンプ。パワーTr10ペア20個によるパラレル・バランス回路と巨大電源部により、8Ω1・1kW。さらに2Ωでも2・5kWの驚異的出力を生む。入力にはバランス/アンバランス各1系統。

柳沢功力



菅野冲彦

強固な主張と明確なコンセプトが横溢。
ソリッドで磨き抜かれた輝きの質感、
厚く丸く、きりっと締った高密度な音。

使いこなしのアドバイス

2Ω以下の低インピーダンススピーカーを駆動したい場合は、本機のリアパネルの切替スイッチをLOW側にすること。また低能率スピーカーの場合も同様。パワーリミッター的な効果が期待できるからだ。スピーカーケーブルも品質が高く径の太いものを短く使用することが大切。そして設置場所としてはターンテーブルのそばを避けた方が賢明だ。

[レステック社/チーフエンジニア/ライナー・レッデマン]

低負荷/低能率スピーカーには切替スイッチをLOWに。ケーブルは良質のものを。

設計者のこだわりポイント

大音量時においてもクリッピングすることなく動作するよう、きわめてハイパワーなアンプとすることを目標にした。また、アンプはノーマルインピーダンス、低インピーダンスを問わずどんなスピーカーでもドライブできることが重要だと考えている。そのため、本機ではローインピーダンス切替スイッチを搭載し、低インピーダンススピーカーに対応している。これは、2Ω以下のスピーカーにおいても理想的な動作状態を維持できるものである。サウンドは常にクリアで、弱音から強音までダイナミックな音楽表現を実現している。回路部は入力段から出力段まで完全なパラレルバランス構成で、電源部も大型2個のトロイダルトランスを採用して大出力に対応している。[レステック社/チーフエンジニア/ライナー・レッデマン]

低インピーダンス型スピーカーも十分にドライブできるハイパワーアンプとして設計。

高密度な音である。その外観の絢爛さはドイツ製品らしさであり、一時代前のメルセデス・ベントンの雰囲気だ。不思議なことだが、他のドイツ製高級アンプと共通のこの重厚なポリリウム感とソリッド感は、ドイツの音の特徴ともいえる個性である。

RESTEK

High End aus Deutschland

底知れぬ力の余裕。

ドイツの頭脳と技術と音楽への愛が生んだアンプの名品、《RESTEK》がいよいよ登場します。4Ωに対して1800W、2Ωに対して2500Wの出力を持ち、さらに1Ω以下の負荷に対しても十分なドライブ性能を発揮するパワーアンプ「Exponent」【エクスポネント】（モノラル）。高い精度に加え驚くべき音の純度を達成したプリアンプ「Vector」【ベクトル】（フォノアンプ付）。ヨーロッパオーディオ界で赫々たる名声を得たこのスーパーオーディオが拓くのは、あくまでもリニアな、透明で、均質な音の世界。無尽蔵なパワーにもまして、音の静けさとローレベルでの細やかな美しさが独特の魅力です。



NEW
ステレオ・プリアンプ
VECTOR ¥690,000

ベクトル
モノラル・パワーアンプ
EXPONENT ¥2,000,000(1台)

エクスポネント
ステレオ・パワーアンプ
TENSOR ¥890,000

テンソル